

「文化財サポーター」養成講座を開催します

関市内には現在、国・県・市の指定文化財があわせて200件以上ありますが、そのなかでも長良川沿岸の小瀬・池尻地区は、国指定の小瀬鵜飼や弥勒寺官衙遺跡群、県指定の円空入定塚、円空仏など、さまざまな時代やジャンルの文化財を見ることができるスポットです。これらの文化財のガイドやガイドのお手伝いができる方、文化財や歴史についてお話しできる方を、「文化財サポーター」として養成する講座を、今年度からスタートします。（募集終了）今年度は、文化財や歴史、マナーの講座を全6回でおこないますが、その第1回を9月10日（日）午後3時から、関市円空館で開催します。

日時	内容	会場・集合場所
①9月10日(日)15:00～21:00	関市の文化財と小瀬鵜飼	関市円空館
②10月14日(土)10:00～12:00	小瀬鵜飼の歴史と景観	鮎之瀬ふれあいセンター
③11月11日(土)14:00～16:00	円空の魅力	文化会館小ホール
④11月18日(土)13:00～15:00	接遇マナー講座	学習情報館ギャラリー
⑤12月9日(土)10:00～12:00	弥勒寺官衙遺跡群と周辺の史跡	鮎之瀬ふれあいセンター
⑥1月13日(土)10:00～12:00	現地見学（弥勒寺史跡公園）	鮎之瀬ふれあいセンター

